

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
 担当課長名：三浦 真紀

事業名	ちいきこうきかくどうろ 地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 日足道路	事業区分	一般国道	事業主体	和歌山県
起終点	自：和歌山県新宮市熊野川町田長 至：和歌山県新宮市熊野川町日足	延長	2.0km		
事業概要	・五條新宮道路（一般国道168号）は、和歌山県新宮市を起点とし、奈良県五條市に至る延長約130kmの地域高規格道路である。日足道路は、一般国道168号における線形不良区間、事前通行規制区間及び冠水による通行止め区間を迂回し、安全な通行ルートを確認する延長2.0kmの2車線道路である。				
H18年度事業化	H19年度都市計画決定 (H19年度変更)	H20年度用地着手	H20年度工事着手		
全体事業費	56億円	事業進捗率	62%	供用済延長	—km
計画交通量	6800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/事業全体 33/52億円 事業費：32/51億円 維持管理費：1/1億円	総便益 (残事業)/事業全体 62/62億円 走行時間短縮便益：51/51億円 走行費用減少便益：10/10億円 交通事故減少便益：1/1億円	基準年 平成21年	
感度分析の結果	(残事業を対象)				
	・交通量変動：B/C=1.7（交通量-10%） B/C=2.1（交通量+10%） ・事業費変動：B/C=1.7（事業費+10%） B/C=2.1（事業費-10%） ・事業期間変動：B/C=1.8（事業期間+1年） B/C=2.0（事業費-1年）				
事業の効果等	・個性ある地域の形成（主要な観光地（世界遺産；熊野・本宮地域）へのアクセス向上が期待される） ・災害への備え（第3次地震防災緊急事業五カ年計画において第1次緊急輸送道路に指定）				
関係する地方公共団体等の意見	・国道168号（五條・新宮間）整備促進協議会より、当該路線の整備促進・早期完成の要望を受けている。				
事業評価監視委員会の意見	・審議の結果、「一般国道168号日足道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・同路線内の越路道路が全線開通（平成21年2月）しており、本事業により得られる効果はより大きくなると考えられる。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	・用地取得は完了しており、平成23年度にトンネル区間（約0.6km）を供用予定。 ・残る区間（1.4km）については引き続き改良工事を推進する。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・計画どおりの事業進捗であり、平成23年度にトンネル区間（約0.6km）を供用予定。				
施設の構造や工法の変更等	・施工にあたっては、周辺環境の保全とともに、新技術の積極的な活用、建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努める。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。